



2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 株式会社ビジネスブレイン太田昭和 上場取引所 東
 コード番号 9658 URL <https://www.bbs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小宮 一浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 上原 仁 TEL 03-3507-1302
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	26,952	15.4	2,466	33.3	2,475	29.9	1,527	21.0	1,367	11.8	1,556	20.6
2022年3月期第3四半期	23,354	9.8	1,850	3.0	1,905	1.8	1,262	8.8	1,223	8.6	1,290	8.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	114.73	113.33
2022年3月期第3四半期	103.21	101.00

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	30,108	15,956	14,900	49.5
2022年3月期	28,296	14,042	13,220	46.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	16.00	-	29.00	45.00
2023年3月期	-	22.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	23.00	45.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	11.3	3,000	9.3	3,000	7.4	2,000	10.5	1,800	2.0	151.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	12,725,000株	2022年3月期	12,725,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	995,275株	2022年3月期	814,066株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	11,918,662株	2022年3月期3Q	11,853,399株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期第3四半期の個別業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	12,916	9.0	1,226	3.1	1,467	3.8	2,671	50.1
2022年3月期第3四半期	11,851	5.9	1,189	18.7	1,413	23.5	1,780	128.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	224.13	—
2022年3月期第3四半期	150.19	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	18,588	11,966	64.4	1,020.14
2022年3月期	17,092	10,399	60.8	873.05

個別業績の概要における財務数値については、日本基準を適用しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、主として以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- (1) 当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) 当社グループが提供するサービスに対する需要動向

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、ウクライナ情勢が長期化する一方、新型コロナウイルス感染症に対する活動制限の緩和もあり、消費活動が徐々に正常化に向かっていますが、世界的なインフレや各国の金融引き締め政策の影響、地政学リスクが原材料・資材価格やサプライチェーンに与える影響、光熱費、食料品を中心とした物価の急上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中ですが、DXやコロナ禍における新しい働き方に対応するための投資需要の高まりを受け、当社グループの受注高は順調に推移しました。

売上収益は、前年同四半期（累計期間、以下同じ）に対し、コンサルティング・システム開発事業が大きく伸長、マネージメントサービス（BPO）事業は概ね前年同四半期並みとなり、全体としては前年同四半期を上回る結果となりました。

売上総利益につきましても、売上収益の増加などにより前年同四半期を上回る結果となり、売上総利益率も前年同四半期に比べ改善しております。

販売費及び一般管理費については、人員増による人件費の増加等により前年同四半期を上回る結果となりましたが、営業利益、営業利益率ともに前年同四半期に比べ改善しております。

前年同四半期に対する営業利益の改善については、継続して好調な情報セキュリティコンサルティング事業のほか、主力取引先からの受注が回復したPLM支援ソリューション事業、業務改善により生産性が向上した人事給与関連アウトソーシング事業が貢献しております。

金融損益については、主に投資有価証券の時価下落により悪化しました。

それらの結果として、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益26,952百万円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益2,466百万円（前年同四半期比33.3%増）、税引前四半期利益2,475百万円（前年同四半期比29.9%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,367百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。また、当第3四半期連結累計期間における受注高は28,621百万円（前年同四半期比15.1%増）、受注残高は12,918百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

[コンサルティング・システム開発事業]

コンサルティング・システム開発事業の当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益21,360百万円（前年同四半期比20.3%増）、セグメント利益1,963百万円（前年同四半期比33.5%増）となりました。事業別の内訳は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上収益			セグメント利益		
	2021年 12月期	2022年 12月期	対前年同 四半期増減	2021年 12月期	2022年 12月期	対前年同 四半期増減
会計システムコンサルティング及びシステム開発	10,555	12,937	2,382	1,006	1,112	106
金融業界向けシステム開発	3,935	3,995	60	168	187	19
情報セキュリティコンサルティング	3,081	4,008	927	324	553	229
PLM支援ソリューション	529	797	268	40	149	109
（セグメント内事業別売上収益）	△348	△377	△29	△68	△38	30
セグメント計	17,752	21,360	3,608	1,470	1,963	493

[マネージメントサービス (BPO) 事業]

マネージメントサービス (BPO) 事業の当第3四半期連結累計期間における業績は、売上収益5,947百万円 (前年同四半期比0.3%増)、セグメント利益498百万円 (前年同四半期比31.2%増) となりました。事業別の内訳は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	売上収益			セグメント利益		
	2021年 12月期	2022年 12月期	対前年同 四半期増減	2021年 12月期	2022年 12月期	対前年同 四半期増減
人事給与関連アウトソーシング	2,240	2,235	△5	164	383	219
グローバル企業向けアウトソーシング	1,443	1,380	△63	152	33	△119
外資企業向けアウトソーシング	624	705	81	21	38	17
オンサイトBPO	1,681	1,691	10	95	73	△22
(セグメント内事業別売上収益)	△61	△64	△3	△52	△29	23
セグメント計	5,927	5,947	20	380	498	118

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は30,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,812百万円の増加となりました。

流動資産は、20,522百万円と前連結会計年度末に比べ2,069百万円増加しました。その主な要因は、現金及び現金同等物の増加1,846百万円、余剰資金の運用等に伴うその他の金融資産の増加705百万円、棚卸資産の増加288百万円、営業債権及びその他の債権の回収による減少662百万円等によるものであります。

非流動資産は、9,586百万円と前連結会計年度末に比べ258百万円減少しました。その主な要因は、使用权資産の償却による減少372百万円や、有形固定資産の償却による減少109百万円、㈱BSCの取得に伴うのれんの増加210百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計額は14,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円の減少となりました。

流動負債は、8,870百万円と前連結会計年度末に比べ183百万円の増加となりました。その主な要因は、その他の金融負債の増加330百万円等によるものであります。

非流動負債は、5,282百万円と前連結会計年度末に比べ286百万円減少しました。その主な要因は、リース負債の返済による減少402百万円等によるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計額は15,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,914百万円増加しました。その主な要因は、グローバルセキュリティエキスパート㈱の株式売却等に伴う資本剰余金の増加1,379百万円、利益剰余金の増加758百万円、自己株式の取得に伴う減少490百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年4月28日付「2022年3月期 決算短信」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	8,638,501	10,484,126
営業債権及びその他の債権	5,618,471	4,956,900
契約資産	2,285,913	2,123,252
その他の金融資産	403,411	1,108,292
棚卸資産	133,804	421,685
その他の流動資産	1,372,443	1,427,679
流動資産合計	18,452,543	20,521,934
非流動資産		
有形固定資産	953,856	844,913
使用権資産	3,726,122	3,353,675
のれん	311,214	521,694
無形資産	453,061	460,853
持分法で会計処理されている投資	115,141	136,064
その他の金融資産	2,494,721	2,409,147
繰延税金資産	1,773,261	1,841,766
退職給付に係る資産	8,921	8,874
その他の非流動資産	7,062	8,730
非流動資産合計	9,843,359	9,585,716
資産合計	28,295,902	30,107,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	56,024	99,546
リース負債	687,952	722,444
営業債務及びその他の債務	2,328,388	2,240,831
その他の金融負債	325,648	655,601
未払法人所得税等	905,507	982,405
引当金	80,225	92,226
契約負債	1,185,536	1,228,170
その他の流動負債	3,117,247	2,848,785
流動負債合計	8,686,527	8,870,008
非流動負債		
借入金	308,522	222,099
リース負債	3,076,269	2,674,126
その他の金融負債	68,131	112,229
退職給付に係る負債	1,303,792	1,386,775
引当金	238,931	248,311
株式報酬に係る負債	234,942	278,272
その他の非流動負債	337,099	359,996
非流動負債合計	5,567,686	5,281,808
負債合計	14,254,213	14,151,816
資本		
資本金	2,233,490	2,233,490
資本剰余金	2,835,065	4,214,134
利益剰余金	8,249,956	9,008,325
自己株式	△196,795	△687,058
その他の資本の構成要素	98,589	131,334
親会社の所有者に帰属する持分合計	13,220,305	14,900,225
非支配持分	821,383	1,055,609
資本合計	14,041,689	15,955,834
負債及び資本合計	28,295,902	30,107,650

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	23,354,408	26,952,113
売上原価	17,701,647	20,280,458
売上総利益	5,652,761	6,671,655
販売費及び一般管理費	3,820,864	4,233,711
その他の収益	33,354	28,583
その他の費用	14,870	535
営業利益	1,850,381	2,465,992
金融収益	72,600	41,011
金融費用	31,243	67,830
持分法による投資損益 (△は損失)	13,544	35,723
税引前四半期利益	1,905,282	2,474,896
法人所得税費用	643,080	947,622
四半期利益	1,262,202	1,527,274
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,223,421	1,367,431
非支配持分	38,781	159,843
四半期利益	1,262,202	1,527,274
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	103.21	114.73
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	101.00	113.33

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	1,262,202	1,527,274
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	27,298	26,827
純損益に振り替えられることのない項目合計	27,298	26,827
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	210	1,875
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	210	1,875
税引後その他の包括利益	27,508	28,702
四半期包括利益	1,289,710	1,555,976
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,251,307	1,400,176
非支配持分	38,403	155,800
四半期包括利益	1,289,710	1,555,976

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日時点の残高	2,233,490	2,567,169	6,836,104	△1,092,091	△712	86,065
四半期利益			1,223,421			
その他の包括利益					276	27,610
四半期包括利益合計	-	-	1,223,421	-	276	27,610
自己株式の取得				△618		
自己株式の処分				72,522		
配当金			△367,018			
株式に基づく報酬取引		81,127		△30,268		
支配継続子会社に対する持分変動		933,813				
その他		468	△1,083			
所有者との取引額合計	-	1,015,408	△368,101	41,636	-	-
2021年12月31日時点の残高	2,233,490	3,582,577	7,691,424	△1,050,455	△436	113,675

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素	合計		
	合計			
2021年4月1日時点の残高	85,352	10,630,024	412,594	11,042,618
四半期利益	-	1,223,421	38,781	1,262,202
その他の包括利益	27,886	27,886	△378	27,508
四半期包括利益合計	27,886	1,251,307	38,403	1,289,710
自己株式の取得	-	△618		△618
自己株式の処分	-	72,522		72,522
配当金	-	△367,018	△11,151	△378,169
株式に基づく報酬取引	-	50,860	17,896	68,756
支配継続子会社に対する持分変動	-	933,813	319,378	1,253,192
その他	-	△615	1,738	1,123
所有者との取引額合計	-	688,943	327,861	1,016,805
2021年12月31日時点の残高	113,238	12,570,274	778,858	13,349,133

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2022年4月1日時点の残高	2,233,490	2,835,065	8,249,956	△196,795	3,363	95,227
四半期利益			1,367,431			
その他の包括利益					2,760	29,985
四半期包括利益合計	-	-	1,367,431	-	2,760	29,985
自己株式の取得		△2,716		△525,113		
配当金			△609,071			
株式に基づく報酬取引		62,899		34,850		
支配継続子会社に対する持分変動		1,317,202				
その他		1,684	9			
所有者との取引額合計	-	1,379,069	△609,062	△490,263	-	-
2022年12月31日時点の残高	2,233,490	4,214,134	9,008,325	△687,058	6,123	125,212

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	その他の資本の構成要素	合計		
	合計			
2022年4月1日時点の残高	98,589	13,220,305	821,383	14,041,689
四半期利益	-	1,367,431	159,843	1,527,274
その他の包括利益	32,745	32,745	△4,043	28,702
四半期包括利益合計	32,745	1,400,176	155,800	1,555,976
自己株式の取得	-	△527,829		△527,829
配当金	-	△609,071	△22,868	△631,939
株式に基づく報酬取引	-	97,749	19,184	116,933
支配継続子会社に対する持分変動	-	1,317,202	81,894	1,399,096
その他	-	1,693	216	1,908
所有者との取引額合計	-	279,744	78,426	358,169
2022年12月31日時点の残高	131,334	14,900,225	1,055,609	15,955,834

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第16号	有形固定資産	意図した使用の前の収入を有形固定資産の取得原価から控除することを禁止
IAS第37号	引当金、偶発負債及び偶発資産	契約が損失を生じるものであるかどうかを評価する際に企業がどのコストを含めるべきかを規定
IFRS第3号	企業結合	IFRS第3号における「財務報告に関する概念フレームワーク」への参照を更新
IFRS第9号	金融商品	金融負債の認識中止のための10%テストに含められるべき手数料を明確化

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主として提供するサービスの違いにより組織を区分しており、この組織を単位として事業活動を計画・遂行・評価しておりますので、サービス内容を基準に事業セグメントを識別しております。また、当社グループは会計及びその周辺業務のシステム開発を行っておりますが、システムは経営目的の実現のためのツールとして位置付けておりますので、経営目的を達成することを念頭に置いた基本構想や要件定義のコンサルティングを行った後、業務改善と並行してシステム開発を行い、続けて改善効果を発現させる定着化までを一貫して行っております。これらの工程は一体として効果を発揮し、不可分でありますので、この領域にあるサービスを集約してコンサルティング・システム開発事業としております。また、システム開発とともに業務改善に伴ってBPO (Business Process Outsourcing) のニーズが発生いたしますが、この領域にあるサービスを集約しマネージメントサービス (BPO) 事業としております。したがって、当社グループはコンサルティング・システム開発事業及びマネージメントサービス (BPO) 事業の2つを報告セグメントとしております。

コンサルティング・システム開発事業は、会計システム及びその周辺システムのコンサルティング、システム開発及び定着化、金融業界向けシステム開発等を行っております。マネージメントサービス (BPO) 事業は、人事・給与・労務、経理・財務、医療事務員等の派遣、損害保険会社の保険代理店向けシステムサポートを行っております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結
	コンサル ティング・ システム開発	マネージメント サービス (BPO)	計		
売上収益					
(1) 外部顧客	17,564,208	5,790,200	23,354,408	-	23,354,408
(2) セグメント間収益	187,440	136,719	324,159	△324,159	-
合計	17,751,648	5,926,919	23,678,567	△324,159	23,354,408
セグメント利益	1,470,177	379,547	1,849,724	657	1,850,381
金融収益	-	-	-	-	72,600
金融費用	-	-	-	-	31,243
持分法による投資損益	-	-	-	-	13,544
税引前四半期利益	-	-	-	-	1,905,282
その他の項目					
減損損失	14,350	-	14,350	-	14,350

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整額及びセグメントに配賦しない決算調整額であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注)	連結
	コンサル ディング・ システム開発	マネージメント サービス (BPO)	計		
売上収益					
(1) 外部顧客	21,208,321	5,743,792	26,952,113	-	26,952,113
(2) セグメント間収益	152,111	203,666	355,777	△355,777	-
合計	21,360,432	5,947,458	27,307,890	△355,777	26,952,113
セグメント利益	1,962,840	498,001	2,460,841	5,151	2,465,992
金融収益	-	-	-	-	41,011
金融費用	-	-	-	-	67,830
持分法による投資損益	-	-	-	-	35,723
税引前四半期利益	-	-	-	-	2,474,896

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整額及びセグメントに配賦しない決算調整額であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前第3四半期連結会計期間（自 2021年10月1日 至 2021年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注)	連結
	コンサル ディング・ システム開発	マネージメント サービス (BPO)	計		
売上収益					
(1) 外部顧客	6,287,866	2,029,613	8,317,479	-	8,317,479
(2) セグメント間収益	62,073	41,299	103,372	△103,372	-
合計	6,349,939	2,070,912	8,420,851	△103,372	8,317,479
セグメント利益	566,084	114,132	680,216	3,027	683,243
金融収益	-	-	-	-	29,431
金融費用	-	-	-	-	18,665
持分法による投資損益	-	-	-	-	6,102
税引前四半期利益	-	-	-	-	700,111
その他の項目					
減損損失	14,350	-	14,350	-	14,350

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整額及びセグメントに配賦しない決算調整額であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結
	コンサル テイング・ システム開発	マネージメント サービス (BPO)	計		
売上収益					
(1) 外部顧客	7,337,566	1,988,377	9,325,943	-	9,325,943
(2) セグメント間収益	55,616	78,975	134,591	△134,591	-
合計	7,393,182	2,067,352	9,460,534	△134,591	9,325,943
セグメント利益	729,942	205,602	935,544	△2,098	933,446
金融収益	-	-	-	-	△9
金融費用	-	-	-	-	5,864
持分法による投資損益	-	-	-	-	13,073
税引前四半期利益	-	-	-	-	940,646

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント間の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整額及びセグメントに配賦しない決算調整額であります。

2. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。